

**絶滅の危機にあるカンムリウミスズメの保護のため
小冊子「カンムリウミスズメの海をまもろう！」を無償配布します**

財団法人 日本野鳥の会（会長：柳生博、会員・サポーター数：約5万1千人、本部：東京都品川区）は、今年度、創立 75 周年を機に絶滅の恐れのある海鳥「カンムリウミスズメ」のより一層の保護に着手しています。そこで、多くの方にカンムリウミスズメの生態や保護の重要性を知っていただくため、小冊子「カンムリウミスズメの海をまもろう！」を2万部作成し、9月9日より無償配布を行います。報道関係各位におかれましては、告知・報道へのご協力をお願いいたします。

■カンムリウミスズメの保護と小冊子の作成について

カンムリウミスズメは環境省の絶滅危惧種に指定され、かつ世界の絶滅危惧種にも指定されている希少な海鳥です。その数は世界中でわずか 5,000 羽程しかいないとされ、日本近海の島嶼域が主要な繁殖地であることから日本が率先して保護に取り組むべき優先度の高い種です。しかし、その生態や生息状況は未だ詳しく把握されておらず、一般の方々にはその名前すら知られていません。

そこで、カンムリウミスズメの生態やくらす環境を多くの方々に知っていただき保護の重要性を広く普及するため、小冊子2万部を作成し、無償配布を行うことにしました。

小冊子では、カンムリウミスズメの生態、危機的な状況、保護の必要性などをわかりやすいイラストや写真を交え解説しています。カンムリウミスズメをはじめ、多様な生きものがくらす海洋環境の保全の重要性をお伝えし、保護のために何ができるかを読みながら考えていただけるように構成されています。



《小冊子申し込み先》

- ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④性別 ⑤生年月日 ⑥職業
⑦どこでこのプレゼント企画をご覧になったか

を明記して、次の申し込み先までハガキ、FAX、Eメールでお申し込みください。

財団法人日本野鳥の会 カンムリウミスズメの海をまもろう！ 係

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

FAX: 03-5436-2635 E-mail: nature@wbsj.org

※電話での受付はしていません。

※ご応募いただいた方には当会からのご案内をお送りすることがあります。

※発送は先着順にお送りします。在庫がなくなり次第、プレゼントは終了とさせていただきます。

■この冊子の特長

- ◎カンムリウミスズメはどんな野鳥か、どんな問題に直面しているかを、イラストでわかりやすく説明しています。
- ◎なぜカンムリウミスズメを守らなければならないのか、その保護の意義を伝えています。
- ◎カンムリウミスズメだけでなく、海の生物多様性を知ってもらい、読者自身何が出来るかを考えていただけるよう構成されています。

カンムリウミスズメという鳥を知っていますか？



日本近海のごく限られた島にだけ生息する、体高24センチほどの小さな海鳥も絶滅の危機に瀕しています。その名はカンムリウミスズメ（冠海鳥）。現在指定される前は、冠海鳥の冠海鳥、伊豆諸島を中心にわずか500羽ほどです。子育ての時期をのぞいて、一生のほとんどを海の上で過ごし、私たちが目にする機会ほとんどないため、その存在も、どんな暮らしをしているのかも、あまり知られていません。「カンムリウミスズメ」とは、どんな鳥なのでしょう？

なぜ、カンムリウミスズメを守らなければならないの？

海洋生態系からみた、海鳥の役割

海洋生態系は、海にすむ多様な生きものの増殖につながり、中々海鳥は、小さなプランクトンから、魚、イカなど様々な生きものを食べ、生態系ピラミッドの上の方に位置しています。「海鳥を守る」ということは、海鳥の食べものになる生きものを守るとともに、生きもの同士の「つながり」すなわち海の生物多様性を守ることになります。また、海鳥は、世界中の海に広く分布し、陸上の鳥に比べて寿命が長いことから、海鳥をバロメーターとして守っていくことで、海洋環境の変化を知ることができます。



鳥を食べるバロメーター

日本の固有種、世界的にも貴重な海鳥「カンムリウミスズメ」

カンムリウミスズメは、世界でも日本近海のみならず希少な海鳥であり、日本国内だけでなく世界的に保護の必要が確立して、IUCN（国際自然保護連合）により絶滅危惧種に指定されています。生息域である海に囲まれた日本は、率先してその保護に取り組みなければなりません。



日本野鳥の会は、カンムリウミスズメを守る活動に取り組みます
日本野鳥の会は、野鳥とその生息環境の保全を通じて、そこに暮らす多様な生きものをつなぐを守っています。国際自然保護連合、IUCN（国際自然保護連合）に絶滅危惧種に指定されたカンムリウミスズメの保護に力を入れています。カンムリウミスズメをはじめ、海鳥はまたわかつていないことが多く、彼らを守るにはまず彼らの暮らしを脅かさないことが重要です。日本野鳥の会は、カンムリウミスズメをシンボルとし、その生息環境である海を守り、海鳥と暮らしを取り巻く生物多様性を守っていきます。



カンムリウミスズメ（冠海鳥）
IUCN（国際自然保護連合）
レッドリスト：絶滅危惧種
環境省レッドリスト：絶滅危惧種
環境省レッドリスト：絶滅危惧種

本冊子は、日本財団の助成金ならびに三菱製紙からの用紙提供を受け作成しました。

■WEBでの目撃情報も募集中

カンムリウミスズメは、繁殖期をのぞいて一生のほとんどを洋上で過ごすため、どのような暮らしをしているか、とくに6月から翌1月頃までどこにいるのか解明されていません。そこで、生息状況を把握するため目撃情報をWEB上で募集します。頂いた情報は今後の保護活動に役立てていきます。携帯電話からの投稿もできます。あなたの情報が新発見につながるかもしれません。

《目撃情報のサイトアドレス》

- PC <http://www.wbsj.org/nature/kisyou/sw/>
- 携帯 http://www.birdfan.ne.jp/m/find_sw.html

※小冊子内でも告知しております。



【本件のプレス関係者様からのお問合せ先】 財団法人日本野鳥の会 普及室普及教育グループ
〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル 担当：掛下（かけした）、岡本
電話：03-5436-2622（月～金）／ FAX：03-5436-2635
E-mail：kakesita@wbsj.org ／ URL：http://www.wbsj.org